

(2) 根拠となる資料 ①自己評価

領域	短期経営目標	自己評価(教職員)[4点満点]			保護者・地域、児童アンケートより	
		具体的方策	取組達成目標	結果	結果	○成果 ●課題 ☆改善策等 (主なもの)
健やかな心と体の育成	心の教育の推進	・基本的な生活習慣「春日小のやくそく」を確立させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.3	保護者アンケートで基本的な生活習慣を身に付けているが、95% 児童アンケートで生活のきまりを守っていますが、89%	○学校で生活面など、いろいろなことを教えていただいているので、本人も自覚が芽生えております。 ○仕事や企画をある程度児童に任せ、自主性が磨かれてと思います。有難うございます。
		・あいさつができるようにする。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.4	保護者アンケートで子供はあいさつができて、91% 児童アンケートであいさつやへんじができて、92%	○1年生のうちからあいさつ運動があるのはとても良いと思います。 ○学校に行く時がありますが、子どもたちはみんな挨拶をしてきて良い雰囲気なのが伝わります。
		・「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.4	保護者アンケートで思いやりや親切心が育っているが、93% 児童アンケートで友達と楽しく、相手の気持ちを考えて行動しているが、89%	○先生方は子ども同士のトラブルなどにもとても子供の気持ちに寄り添ってくれて、問題を解決し、次回につなげる話をしてくれて、子どもも安心して学校に通えていると思う。
		・児童アンケート、児童個人面談を実施して、児童の実態把握に努め、「いじめ」「不登校」「体罰」がないようにする。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.4	保護者アンケートで思いやりや親切心が育っているが、93% 児童アンケートで友達と楽しく、相手の気持ちを考えて行動しているが、89%	
	体力向上	・体育科授業を改善・充実させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.0	児童アンケートで体育の勉強が楽しいが、95%	☆児童アンケートのポイント 7ポイント向上
		・新体力テストの結果を生かし、体力の向上を図る。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.0	児童アンケートで体育でいろいろなことができるようになったが、91%	☆児童アンケートのポイント 7ポイント向上
		・休み時間、外で元気に遊ぶ習慣を定着させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.0	児童アンケートで休み時間に外で元気に遊んだが、76%	○外遊びが活発に行われていて良いと思います。
		・毎日を「元気で過ごす」体動を定着させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.2	児童アンケートで毎日元気にすごせるように、よくねてごはんを食べているが、90%	☆児童アンケートのポイント 6ポイント向上
	保健指導・安全教育	・学校安全計画に基づき、危険なことや事故から自分を守る力を育てる。危険なことや事故から自分を守る力を育てる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.3	児童アンケートで安全に行動できた児童が、94%	☆児童アンケートのポイント 9ポイント向上
		特別支援教育の充実	・配慮を要する児童の実態を把握し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を行う。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.3	保護者アンケートで個に応じた指導が行われているが、93%
食育の推進	・給食指導等で、よい食習慣を身に付け、職の大切さを理解させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.4	児童アンケートでマナーを守って給食を食べているが、90%	○うちの子は学校が楽しい、給食が美味しすぎる!とっています。	
	オリンピック・パラリンピック教育の推進	・オリンピック・パラリンピック教育推進のための取組を各教科等で実施する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	2.4	児童アンケートでオリンピック・パラリンピックの思い出をもとに運動や人との交流ができた児童が、60%	☆保護者アンケートのポイント 6ポイント向上
計画に基づいた指導	・「週ごとの指導計画」に指導のねらい、指導内容等を明記して、計画的に工夫した指導を行う。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.4	保護者アンケートで工夫した授業がされているが、89% 児童アンケートでおどろき・おもしろいな・楽しいなど感じるが、89%	○授業が分かりやすいと聞いています。 ○他の教材など使ったりもしておりますが、学校の授業が一番わかりやすい!と毎回言っております。 ○いつも子どもの為に尽力していただき、有難うございます。	
	・1単位時間(45分)の授業時間をしっかりと確保し、授業時数の確保を行う。(毎週「週ごとの指導計画」に時数を記入する。)	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.6	保護者アンケートで学校ではわかりやすい授業を行っているが、89% 児童アンケートで勉強がよくわかりますが、92%		

確かな学力の定着と向上	基礎的・基本的な学習内容の定着	・算数科で、習熟度別学習(3～6年)・TT体制(1・2年)を行い、授業の充実を図る。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.8	保護者アンケートで算数の学習がわかりやすくなっているが、83% 児童アンケートで算数の勉強がよく分かるが、90%	●算数で基礎クラスを希望する子が多く、望むクラスに入れないと聞きました。工夫をお願いしたいです。
		・朝学習「春日タイム」や長期休業中の「学力補充教室」などを活用して、個に応じた指導の充実を図る。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.1	保護者アンケートでわかりやすい授業を行っているが、89% 児童アンケートで勉強がよく分かるが、86%	☆保護者アンケートのポイント アポイント低下
	探究的な学習活動の実施	・総合的な学習の時間や生活科で探求的な学習を実施する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.2	保護者アンケートで授業を通して基礎的な力を身に付けているが、90% 児童アンケートで学習の時間に関する調べたり、見つけたりしているが、82%	☆児童アンケートのポイント アポイント向上
	学習習慣の確立	・学習の基礎となる「規律ある学習習慣」(「授業中のやくそく」)を確立する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.3	保護者アンケートで、授業の約束が守られているが、90% 児童アンケートで勉強の時の約束を守っているが、92%	○自分の子どものクラスは、授業中のルールが定着している。やるべきことが明確なので子どもたちが余計な迷いや、顔色をうかがうことなく、目の前の学習だけに集中できていると思った。
	研究・研修の充実	・自己申告時の授業を公開する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	2.0	保護者アンケートで工夫した授業がされているが、89% 児童アンケートでおどろき・おもしろい・楽しいと感じるが 89%	
・小中一貫教育のために9年間を見通して各学年の基礎・基本の力を身に付けさせる。		4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.1	保護者アンケートで、基礎的な力を身に付けているが、90% 児童アンケートで、勉強がよく分かるが、92%	●作文等できるように指導願います。 ☆国語における作文・感想文、社会などにおける新聞づくり、タブレットを使った意見交換・情報発信など、様々な活動を通して、文章を書く力を向上させていけるように努めてまいります。  ●ローマ字教育に疑問を感じる。普段使わないようなローマ字表記の書き方など子どもにとって混乱の1つになると思う。 ☆様々なローマ字の表記方法があるなかで、実際の生活のなかでローマ字に出会ったときに、いろいろな表記方法があるということを知っておくことも必要ではあると考えます。ただし、指導時間は限られているため、ご意見のように混乱してしまう原因のひとつではあると思います。 また、タブレットが全員配備されるなかで、ローマ字入力の必要性や有効性を考えると、国語・外国語・タブレット利用との相互の関連を含めた発達段階に応じたローマ字指導について検討していく必要があると学校も考えています。	
地域・保護者との連携	保護者・地域の力を生かした教育活動の推進	・ICT機器を有効に活用し、効果的に学べる授業を展開する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.0	保護者アンケートで、ICT機器を活用して工夫された授業が行われているが、75% 児童アンケートで、ICT機器が使われることで授業がわかりやすいと感じる児童が、85%	●タブレットをもっと使ってほしい。 ●タブレットをもっと活用してほしい。毎日とても重そうなラウンドセルがかわいそうに感じます。 ☆今年度、校内研究としてもICT機器の活用を位置付け、研究や研修を進めてまいりました。昨年度(令和3年度)と比較しても、使用頻度は向上してきております。効果的にタブレットを活用できるよう、使用方法や機会など継続して検討していきます。
		・学習に保護者や地域、外部の人材を活用し、学習内容の充実を図る。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.3	保護者アンケートで学校は、家庭や地域との連携に取組んでいるが、86% 児童アンケートでゲストティーチャーの機会を楽しみにしているが、87%	○革新的な学校だと思っています。春日小だけの校長先生のお言葉に感銘を受けました。 ○親にとっては子どもの言葉が全てなので、先生方には感謝しありません。答えになってませんが、これからも宜しくお願いします。 ○問題点は見つかりません。今のままで良いです。いつもありがとうございます。 ○いつもありがとうございます。 ○楽しそうに登校しております。いつも有難うございます。 ○春日小は先生方の教育の工夫や児童への寄り添いがとても良いと感じています。これからも宜しくお願い致します。 ○まだまだコロナ禍の中、先生方には日々感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございます。高学年になると、自我や意見が出てきて、小さな社会人であると感じることがあります。小学校の先生は、「教授する」という立場であると同時に、両親に次ぐ、ご家庭によっては両親以上の日々の時間を子どもたちと一緒に過ごす大人です。子どもたち一人一人の自我を大切にしたいだけでなく、子どもたちが大人としていくな、少なくとも大人に失望しないような姿であってほしいです。その為にも、先生方ご自身が、心身ともに健やかで子どもたちに接していただくのはもちろん、そうなるよう、校長先生始め練馬区が子どもたちにさらに前向きにのぞんでいただけたら、親としてこれほど嬉しいことはありません。子ども一人一人が未来の宝なのですから。他の自治体の取組が取り上げられておりますが、先生方の心身の健康をきめ、練馬区の教育へのさらなる取組に期待しております。  ●イベントの鑑賞の仕方について、鑑賞する人数が減っているのは見えにくい人が多いようです。子どもたちが舞台より下で鑑賞すると鑑賞側は3列目より後ろは見えにくいので、鑑賞するほうに段差をつけるなどの工夫があると良いと思う。(例えば、1番前はマット、2列目は平均台、3列目は椅子、それ以降は立ち見など) せっかくの機会なので、早い者勝ちではなく、みんなが見えることを優先して考えて貰えるような鑑賞する側としても、みなさんに見ていただくような内容や児童の配置なども考慮したうえで、多くの方が見やすいイベントにできるよう努めてまいります。  ●教育という面ではないが、親のPTA的な物を外部委託にしたい。仕事が忙し中でそういった活動は難しい家庭も多いと思う。 ☆学校としても、様々な行事等を精選しながら、みなさまのご負担をできるだけ軽減できるよう努めているところです。今後の活動のあり方については、外部委託のことも含めて、保護者と教職員の会において検討してまいります。  ●人数でクラスを括るのではなく、子どもたちの成長を加味して、先生を増やしてもらったら良いと思います。 ☆学校の教員数につきましては、法令により学級数に応じて決められた人数が配置されております。状況に応じて、学校生活支援員を配置したり、ボランティア等も活用しながら、教育活動を進めてまいります。  ●子供間のトラブルに対して、担任の指導に疑問があります。トラブルの際の扱いに不公平さを感じ、その状況で過ごさなければならないと思うと、本当に不安です。 ●先生は保護者会の時に一人で大変だと話され、実際に子どもが相談に行っても丁寧に話を聞いてくれない。担任に負担が大きいのではないかと感じる。 ☆複雑なトラブル等に対しては、学級担任一人ではなく、複数の教職員で対応することで事実関係をきちんと確認し、当該児童および保護者へと丁寧に説明・対応していけるよう心掛けてまいります。  ●せっかくタブレットが貸与されているので、もっと活用しないもったいないのではないかと。欠席時に担任からフォローがあったりすると、コロナやインフルエンザなどの自宅無償期間も安心して過ごせると思う。授業の振り返りができるような仕組みやタブレットでの課題提出を(先生に負担がからないように)区や学校が検討してほしい。 ☆学級開講等に際しては、タブレットを活用したオンラインでの学級活動や学習指導なども、児童のタブレットの利用スキルや発達段階に応じて実施しております。学校としても、さらにどのような対応が可能な検討を進めてまいります。  ●となりのクラスに比べ、連絡事項が遅れたりしている。また、先生は伝えることを忘れて、時間割をまちがえたりしているが、子どもが忘れ物をしたときは、冷たくされた子どもが傷ついていた。子どもに寄り添って、突きはなすかたちは取らないでほしい。親として確認も足りなかったと反省しておりますが、必要なものは、事前に学年だよりでも伝えてほしいです。 ☆事前に必要だとわかっている特別な持ち物等に関しては、できるだけ学年だよりや学級だより等でお知らせしていくように心がけます。また、急遽必要となった重要な持ち物等に関しては、学校連絡メールも活用しながら、家庭でも確認・声かけができるようにしています。